

秋の褒章13人・1団体に

秋の褒章受章者が2日付で発表された。県内からは、団体に贈る褒状に緑綬で1団体、緑綬褒章に1人、黄綬褒章に4人、藍綬褒章に7人が選ばれた。県外在住者は黄綬褒章の1人。いずれも社会奉仕活動や業務精励などに功績が認められた。

受章者の皆さん

増美化奉仕団体。浜田市熱田町

◇緑綬褒章◇

【社会奉仕活動功績】

滝山 義夫(93) 点訳奉仕者。浜田市原井町

◇黄綬褒章◇

【業務精励】

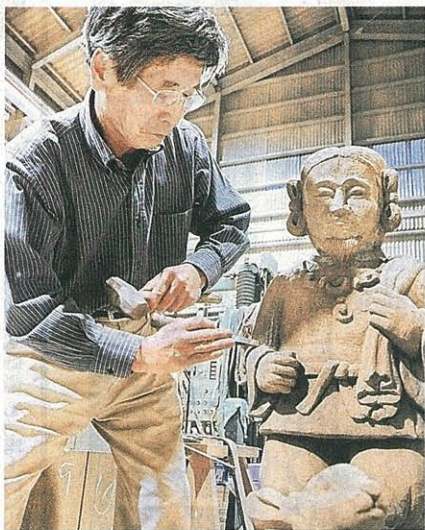
天野 宏昌(61) 天野 釜金工作所代表取締役。松江市南田町

◇藍綬褒章◇

【社会奉仕活動功績】

小村 治男(77) 小村 書店代表取締役。出雲 浜田海洋少年団 環 市平田町

来待石手彫り半世紀超す



「人間の手に勝るものはない」と話し、のみやつるはしを握り続ける須田益在さん

のみやつるはしを使い、地元産の来待石を、ミリ単位で削る。機械に頼らない手彫りの灯るうやこま犬、仏像をろうやこま犬、仏像を人の技術を盗み、夜も手掛けて56年になる。工房で石を彫り続け

40年近く点訳ボランティア

◇緑綬褒章◇
滝山 義夫さん(93)
(浜田市原井町)



「他の点訳者の励みになれば」と受章を喜ぶ滝山義夫さん

「趣味が続けてきた者の励みになればうれ道に続けてきた点訳ボだけ。受章が他の点訳しい」。40年近く、地ランティアの活動が認

た。1965年ごろから機械加工が普及してきたが、一人間の手に勝るものはない。手でないとな当の味が出てこない」と、手作業にこだわら。一もともと不器用な方」と自らを評すが、長年磨いた技術から生まれる優美な曲線美が評価され、2008年に厚生労働省の「現代の名工」に選ばれた。松江石灯ろう協同組合の理事長を務め、減少する石工職人の育成に後世に残る作品づくりに熟を込める。

- 須田 益在(72) 須田 石材店代表。松江市比津が丘1丁目。
- 曾田 宏(76) 元杜 氏。出雲市小境町
- ◇藍綬褒章◇
- 【消防功績】
- 安部 正教(63) 奥出 雲町消防団団長。同町 下横田
- 【社会福祉功績】
- 須田 八雲町東岩坂 世
- 江下 芳久(76) 民生 児童委員。大田市市川 合町川合
- 【防犯功績】
- 門脇 栄一(81) 雑賀 地区地域安全推進委員会 会長。松江市野町
- 【新規産業功績】
- 小松 昭夫(68) 小松 三木 弘道(69) 保護 庫県姫路市広畑区城山 町。雲南市大東町下佐 町
- 【調停委員功績】
- 服部 孝之(65) 調停 委員。浜田市相生町
- 【更生保護功績】
- 長島 勇(63) 新日鉄 住金広畑製鉄所生産技 術部研究・品質管理室 研究・品質管理係。兵 庫県姫路市広畑区城山 町
- ◇黄綬褒章◇
- 【業務精励】

第38回 黄色い手帳運動
反射材 暗い夜道の 護身術
島根中央信用金庫

習を受けながら活動 をスタート。これま でに点訳した小説などの 点字図書は約210タ イトル、約9万冊に及 び、校正した図書も約 600タイトルにな 活動開始と同じ年に

められ、柔和な顔に喜 びが浮かぶ。 点訳を始めたのは、 旧国鉄を55歳で定年退 職した1975年。山 口県秋市内で駅長を務 めていた74年に偶然、 新聞で点訳の記事を見 て興味を持ったのがき っかけだった。 退職し地元の浜田で 点訳ボランティアの講 立ち上げた石見部の点 訳ボランティアでつく るサークル「点読虫」 の会長を約30年にわた っつ務め、点訳者の指 導育成と活動の普及に 貢献してきた。 90歳を超えても毎日 8時間以上、自宅点 訳に励む。「点訳しか 趣味がない。死ぬまで 続ける」と、意欲は衰 え知らずだ。